

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	書道表現	2	3年次・J2群	選択

目 標	履修の条件・連絡
1 書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てる。 2 感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基本的な能力を伸ばす。 3 日常生活の書における興味・関心を深める。	・硬筆書写技能検定3級・2級を受験する。

使用教科書 (出版社)	新版 応用ペン習字 (教育図書)	副教材 (準備物)	大筆 小筆
----------------	---------------------	--------------	-------

学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容 (単元・項目)	学習のねらい
	1 学 期	4月	1 漢字の表現 (1) 楷書	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆書写技能検定について年間計画について理解する。 ・楷書の基本点画と字形について理解する。 ・部首について理解する。 ・筆脈に影響する筆順について理解する。 ・楷書と比較した行書の特徴について理解する。 ・平仮名に調和する漢字表現を身に付ける。 ・漢字、仮名の成立について理解する。
		5月	(2) 部首と筆順	
		6月	(3) 行書の特徴	
2 学 期	7月	2 漢字仮名交じり文 (1) 漢字と仮名の調和	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい字配り、バランスを身に付ける。 ・受け手の心情を敬う形式について理解する。 ・効果的なレイアウトを身に付ける。 ・書体の変遷を理解する。 ・年賀状を作成する。 ・書式に応じた読みやすい表現を身に付ける。 ・ことわざ、はがき、封筒などの実用書を中心に学び、日常生活に生かせるよう習得する。 	
	9月	(2) さまざまな文字との調和		
	10月	3 生活の中の書 (1) 時節のあいさつ状		
	11月	(2) 履歴書		
3 学 期	12月		<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で生き生きと存在する書を求め、用途や素材と書の組み合わせ方について構想し制作する。 	
	1月	4 漢字仮名交じり文		

学 習 評 価	観点	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
	規 準	書を愛好し、書の文化と伝統を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わえたか。	感性を働かせて書の良さや美しさを感じとり、個性を生かして豊かに発想し、創造的に表現を追求できたか。	個性豊かに創造的な表現をするために、素材を生かした効果的な表現の技能を身に付いたか。	日常生活における書の効用や日本及び中国等の書の文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わえたか。
	手 段	・制作の様子 ・プリント ・作品	・制作の様子 ・プリント ・作品	・制作の様子 ・プリント ・作品	・鑑賞の様子
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	・期末評価・・・100点法＝(提出作品の実技評価)×0.6+(学習プリント・学習活動への参加の仕方や態度・レポート・出欠席状況)×0.4 ・学年末評価・・・(1学期成績+2学期成績+3学期成績)÷3 5段階評価			

学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料3000円～4000円と別途、教材費として1000円程度徴収します。 ・定期考査は行わないので、積極的に授業に参加し、作品を必ず完成させること。
-------------	---